

スローフードでまちを元気に

スローフードセミナー



郷土料理講習会



2月16日、橘総合センターで周防大島地産地消シンポジウムが開催されました。地産地消を推進している周防大島町では、豊かな自然環境に培われた食文化を大切に、地元で生産されたものがより多く地元で消費されるしくみをつくることで、地域の活性化を目指しています。

シンポジウムでは、フリーライターの森千鶴子氏によるスローフードセミナーや、町内で地産地消に携わる方々によるパネルディスカッションが行われました。また、郷土料理の講習会では、「かいもち」と「周防大島みかん鍋」の試食もありました。地元の食材を使って開発された新しい郷土料理を味わいながら、農水産物や地域資源を生かしたまちづくりの可能性について考えるきっかけとなったようです。

河津桜で地域おこし

久賀の町をタスキでつなぐ、久賀駅伝が2月25日に開催されました。冷たい風の吹く天気となりましたが、参加チームは商店街や住宅街を抜けるコースを力いっぱい走りました。

商店街を走る久賀駅伝



小積では2月中旬から河津桜かわづざくらが咲き、地元の人を楽しませていきます。この桜は、地域おこしグループ「おつみ真砂会」代表の亀川和夫さん達が、憩いの場づくりや観光の一助になればと、3年前から伊豆半島の河津町より苗木を取り寄せ植えたもの。

河津桜は濃いピンクの大きな花が2月から1カ月余り咲くのが特徴で、提供してくれた畑などを利用し現在では約100本になり、桜のもと春祭りも行われました。寒い時期に長く咲く河津桜を、これからもいろんな場所に広げたいと意気込んでいます。

スキー教室を開催

2月17日、広島県の八幡高原191スキー場において恒例のスキー教室が開催されました。大島地区子ども会、ココロとカラダ健研究会、町教育委員会の共催に加え今年度は山口県スキー連盟のコーチに協力をいただきました。

子どもたちは家族と一緒に普段見慣れない雪の中でスキーやスノーボード、そのを楽しんできました。



2月中旬から咲き始めた河津桜と亀川さん